



源清流清

ときわ会
武藤 常男

令和6年7月23日
第11号
ときわ会東蒲・五泉支部
広報委員会

『晩春の仙見川溪谷壺滝』
木漏れ日の差す仙見川壺滝を、岩棚の上でヒキガエルも眺めていた。
OB会員 武藤 常男 様



ゆるがないもの

支部長 山崎 浩志
(昭62年度)

新型コロナウイルス感染症の扱いが変わり、ときわ会の活動も本来の姿を取り戻しつつある。元に戻るのに四年かかったことになる。ここで振り返ってみる。この四年間、ときわ会の活動は停滞していたのか。退化していたのか。答えは否である。

活動の制約や中止は確かにあった。しかし、「学びを止めない」との思いのもと、最適解を求めて活動が展開されてきた。昨年度は、創設一五〇周年記念事業が盛大に行われ、「進化・深化し続けるときわ会」として、新たなステージが動き始めている。

困難な中で、このように私たちを突き動かしたのは何か。それは、「ときわ会本旨」にほかならない。
「ときわ会本旨」は言う。「社会的責任と自覚を堅持して進む」と。「厳しく自ら鍛え、相互に錬磨しあう」と。「不朽の理想実現のために結集し、生生発展する」と。

いかなる難局があろうとも、「ときわ会本旨」に込められた志はゆるがない。この思いに突き動かされた四年間であつた。

翻って、今はどうか。子ども的人格を形成するという使命感に燃えているか。学び続ける教師として、指導力や人間力を磨いているか。集い、語り合い、つながりを強くしているか。会員個々が、自らの今を見つめ、何をすべきかと問い直し、未来への構想を描かなければならない。それが、ときわ人としてのゆるがない個をもち続けることになる。

ときわ会東蒲・五泉支部は、今年度も、支部活動のスローガンとして『「あ」こがれ、『つ』ながり、そして『み』らいへ』を掲げ、会員個々の「5せん」(専門性・先見性・洗練さ・センシビリティ・センス)を、ゆるがないものとして磨き続ける。そして、ときわ会に所属することのよき、ときわ会の存在価値を実感することを目指す。

令和六年度 ときわ会東蒲・五泉支部の取組

研修委員会

指導力や人間力の

向上を目指して



五泉南小学校
若狭 陽一
(平2年度)

各自が研究テーマを設定し、互いに学び合う「グループ研修」が支部研修の核です。以下、今年度のグループ研修の方向です。

【支部の伝統を踏襲して】

・全会員が教科・領域別のグループに所属し、主体的な研修を年間五、六回行います。

・秋季・冬季研修総会や研究集録「源清流清」で、各自の研修の成果を交流します。

・【新たな進化・深化を目指して】本部セレクト研修の活用を図ります。

・研修委員が、各グループの指導者や世話役を担うことにより、研修委員会が各グループのニーズを的確に把握し、研修の改善に生かします。

・秋季・冬季研修総会の内容・方法を直視し、交流をより一層活性化します。

組織委員会

縦糸を増やし、強く、太く。



川東中学校
佐藤 昌樹
(平元年度)

「やってよかった」「出会えてよかった」と思えるグループ研修を、全会員で創り上げていきましょう。

ベテラン、中堅、若手の交流や融合（縦糸）を増やし、強く、太くする活動を推進します。仲間のよさが実感できるよう、交流の促進、情報共有を図り、次の事業を実施します。

・自立会員・三職会員激励会（懇親会） 7 / 5

・支部出身者激励会（懇親会） 7 / 27

・交流委員会（茶話会） 11 / 上旬

・年度代表者会（面談） 11 / 23
また、仲間を増やす取組として、支部五名以上を目標として入会促進を行います。

布を織りなすには縦糸のみならず、横糸も大切です。横糸を強くする機会として、「と青研」「と中

研」への支援、必要に応じて年度の会への支援も行います。研修の方法や内容、講師の選定など、お気軽にご相談ください。

広報委員会

互いを知り、

互いの実践を知る



川東小学校
雑賀 真澄
(平元年度)

今年度も、広報委員会では、支部広報誌『源清流清』の発行を中心として、支部会員の絆を深め、会員一人一人の指導力や人間力の向上に資する広報活動に取り組みます。

本号では、好評である支部全会員のプロフィール掲載を継続しました。互いを知り、今後のつながりを生む・増すきっかけとしてください。次号では支部内会員の『5せん』を高めるべく、優れた実践や本部・支部研修の様子、OB会員様からの提言を中心に編集します。

また、ときわ会ホームページの「支部情報ボックス」等を通じた支部情報の発信も継続していきます。支部情報ボックスや「EDUNCOにいがた」に実践を掲載したい方、

掲載を推薦したい方がおられましたら、広報委員会へぜひお知らせください。

地域連携推進委員会

新しい風となろう



村松中学校
稲生 一徳
(平3年度)

地域の信託に応える学校づくりのため新しい風となるのが「地域連携推進委員会」です。

教育研修団体「ときわ会」の本旨に立ち返り、地域連携を理解して、地域貢献することの価値について、会員で再確認する研修を企画します。また、私たちが勤務する地域に暮らす人を元気にすることとは社会的責任でもあります。会員として、どう貢献していくのか、当事者意識をもち考えることができるよう働きかけていきます。

新規事業を紹介いたします。

①五泉市主催の研修会への参加

②各種イベント参加者への支援（参加料等の負担補助）

③有志による活動の推奨

活動の際には「ジャケット」を貸し出しますので着願います。

会員の皆様、一人一人の気持ちの集まりが、地域と「ときわ会」を未来へ推し進めると信じています。